

2011年7月6日
原子力ポスター・コンクール永久中止署名呼びかけ人一同

文部科学省 研究開発局 原子力課 立地地域対策室 御中
経済産業省 資源エネルギー庁 電力ガス事業部 原子力立地・核燃料サイクル産業課
原子力発電立地対策・広報室 御中

今後のエネルギー教育に関する要望

今回の原子力発電所事故による深刻な被害の現状を真摯に受け止め、今後のエネルギー教育を行う上での出発点としていただきたく、以下要望します。

1. 原子力のみを推進する「原子力ポスター・コンクール」を、8月末の来年度予算要求からはずし、永久に中止してください。
2. 今回の事故の被害、影響および今後起こりうる健康・環境へのリスクについて、正確に伝えてください。
3. これまでの「原子力教育」を改め、「エネルギー教育」に転換してください。
4. 原子力については、リスクと共に環境・社会影響やコストについても正確に提示してください。その際、発電時のみではなくウラン採掘から放射性廃棄物の処理までを含めライフサイクル全体について示してください。
5. 省エネルギーと自然エネルギーの利用拡大を視野に入れた未来のエネルギー利用について、子どもたちが自ら考え、選ぶことができるような教育を行ってください。

以上

◆呼びかけ団体・個人（順不同）

【団体】NPO 法人環境市民、国際環境 NGO FoEJapan

【個人】 松本育生（NPO 法人環境市民理事）、羽田野晃弘（xChange 理事・事務局長）、丹羽順子（環境ジャーナリスト）、星川淳（作家・翻訳家）、四宮成晴（NPO 法人土佐の森・救援隊理事）、藤野完二（環境カウンセラー）、内田洋子（くらしを見つめる会）、宮北隆志（NPO 環境ネットワークくまもと代表理事）、岡本佳美（株式会社アム代表取締役）、野田治美（NPO 法人 BeGoodCafe 理事）、木村輝一郎（映像ディレクター/abovo）、飯田哲也（NPO 法人環境エネルギー政策研究所所長）、槌田劭（NPO 法人使い捨て時代を考える会相談役）、山田岳（ただすのもり環境学習研究所）